

平成 2 5 年 度

# 第 7 0 回 全 国 保 健 所 長 会 総 会

と き : 平 成 2 5 年 1 0 月 2 2 日 ( 火 )

と ころ : 三 重 県 津 市 「 ホ テ ル グ リ ー ン パ ー ク 津 」

全 国 保 健 所 長 会

## ◇ 次 第 ◇

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 表彰式（全国保健所長会長表彰）

4. 来賓祝辞

5. 講 演

6. 報告事項

1) 会務報告

2) 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

3) 委員会報告

7. 議 事

第1号議案 平成24年度事業報告、収入支出決算報告及び監査報告

第2号議案 平成25年度補正予算（案）について

第3号議案 平成26年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

第4号議案 役員改選について

8. 名誉会員の推戴について

9. 次期開催地代表挨拶

10. 閉 会

☆総会議事終了後、以下のプログラムを予定しております。

13時30分～14時20分 研究事業報告

14時30分～17時00分 会員協議

テーマ：「保健所行政における情報化の現状と今後のあり方」



## 目 次

### 報告事項

1. 会務報告-----	1
2. 総務・渉外・学術・研修・広報-----	4
3. 委員会報告-----	9

### 議 事----- 12

1. 平成24年度事業報告及び収入支出決算報告および監査報告
2. 平成25年度補正予算（案）について
3. 平成26年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について
4. 役員改選について

### 地域ブロック・部会活動報告(紙上報告)----- 13



## [報告事項]

### 1. 会務報告

全国保健所長会活動（平成25年度）

月	日	活 動 状 況
4月	18日	北海道地域ブロック総会
	18日	東京地域ブロック総会
	18日	特別区部会総会
5月	23日	東北地域ブロック総会
	30日	第1回理事会
	〃	第1回総務、渉外、学術、研修、広報 担当理事会
	30日	近畿地域ブロック総会
6月	27日	「平成26年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」提出
	29日	第1回地域保健の充実強化に関する委員会
7月	5日	関東甲信越静地域ブロック総会
	11日	指定都市部会総会
	18日	九州地域ブロック総会
	18日	第1回健康危機管理に関する委員会
	26日	東海北陸地域ブロック総会
8月	30日	第2回理事会
	〃	第2回総務、渉外、学術、研修、広報 担当理事会
	30日	第2回地域保健の充実強化に関する委員会
10月	21日	政令市部会総会
	22日	第70回総会



担当理事会	総務担当	渉外担当	学術担当
顧問	倉橋 俊至（特別区・荒川区）	宇田 英典（鹿児島県・伊集院）	山中 朋子（青森県・弘前）
常務理事	岩間 真人（静岡県・御殿場）	大江 浩（富山県・砺波）	遠藤 幸男（福島県・県北）
副常務理事	相田 一郎（北海道・帯広）	宮崎 親（福岡県・糸島）	矢内 真理子（特別区・台東区）
	古屋 好美（山梨県・中北）	雨宮 文明（川崎市・川崎）	早乙女千恵子（群馬県・東部）
	岸本 泰子（島根県・出雲）	竹中 章（福岡市・南）	武藤 眞（福井県・丹南）
	明石 都美（名古屋市・中）	山崎 彰美（千葉県・柏市）	笹井 康典（大阪府・枚方）

担当理事会	研修担当	広報担当
顧問	山中 朋子（青森県・弘前）	宇田 英典（鹿児島県・伊集院）
常務理事	柳 尚夫（兵庫県・洲本）	山口 亮（北海道・旭川市）
副常務理事	中川 洋一（徳島県・三好）	緒方 剛（茨城県・筑西）
	菅原 智（岩手県・県央）	服部 悟（愛知県・衣浦東部）
	城所 敏英（東京都・島しょ）	大橋 秀隆（兵庫県・龍野）
	藤崎 淳一郎（宮崎県・中央）	早田 篤（長崎県・長崎市）



## 2. 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

### 1) 総務担当報告

- (1) 会員数（保健所数）について  
平成 24 年度 495 → 平成 25 年度 494（4 月 1 日現在）
- (2) 名誉会員の承認について  
金田 麻里子（前荒川区保健所長）、小窪 和博（前千葉県海匝保健所長）  
川島 ひろ子（前石川県石川中央保健所長）
- (3) 第 58 回全国保健所長会長表彰の受賞者について  
丹野克則（北海道帯広保健所）他 56 名（別添資料参照）

### 2) 渉外担当報告

- (1) 平成 26 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の作成  
昨年度と同様の手順で要望書を取りまとめた。
  - ①平成 25 年 2 月 19 日の全国保健所長会理事会で要望書とりまとめ手順を説明。
  - ②平成 24 年度の渉外担当理事会で作成した要望書原案を踏まえ、平成 25 年度の渉外担当
  - ③理事会で要望書のたたき台を作成。
  - ④事務局から、全国保健所長会の全役員に対してたたき台について意見照会  
（平成 25 年 5 月 8 日～23 日）、出された意見をもとに要望書案を作成。
  - ⑤平成 25 年 5 月 30 日、全国保健所長会理事会で要望書案について説明。

渉外担当理事会で要望書最終案を取りまとめ、会長・副会長が最終確認。

要望書では、特に「健康危機管理に重点（災害対策、食中毒対策、結核・感染症対策等）」、「全国保健所長会活動とのリンク（委員会、地域保健総合推進事業等の各研究班、所長会メンバーリングリスト）」、「新たな公衆衛生動向に対応（法改正・制定や指針の見直し等）」の 3 点に配慮した。

#### (2) 日本医師会への協力要請

平成 25 年 6 月 12 日、日本医師会長に面会し、要望書について協力を要請した。

出席者：全国保健所長会（副会長、渉外担当理事、事務局）

#### (3) 平成 26 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の提出と配布

①平成 25 年 6 月 27 日、厚生労働省に要望書を提出した。

出席者：全国保健所長会（会長、副会長、事務局）

訪問先：健康局長、食品安全部長、厚生科学課長等

厚生労働省関係局・課・室に要望書提出（渉外担当理事、事務局）

②都道府県庁、保健所へ要望書を配布した。

③保健衛生ニュース（平成 25 年 7 月 15 日号）及び公衆衛生情報（平成 25 年 7 月号）に概要を掲載した。

④全国保健所長会ホームページに要望書の全文を掲載した。

#### (4) 平成 26 年度「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の成果検証

要望事項についての成果検証作業を継続して行っている。8 月 30 日の理事会で暫定報告を行った。

### 3) 学術担当報告

- (1) 2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA 2010）と NIPPON DATA 80/90 の追跡継続に関する研究への協力依頼（8月15日）
- (2) 健やか親子 21 推進協議会課題 3 主管幹事団体関係
  - ① 幹事会の開催（10月10日）
  - ② 健やか親子推進協議会（課題 3・課題 1）講演会の開催（2月24日）
- (3) 地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）関係
  - ① 以下 10 事業の実施決定。
    - 1 健康づくりにおけるソーシャル・キャピタルの育成等に関する  
保健所の役割に関する調査研究
    - 2 災害時における保健所の公衆衛生（地域保健）に関する調整機能の強化に関する研究
    - 3 精神科医療と地域ケアの連携推進事業
    - 4 在宅医療・医療介護連携・地域包括ケアの推進における保健所の役割に関する研究
    - 5 地域保健の視点で担う今後の保健所母子保健活動の推進に関する研究
    - 6 東日本大震災復興期における保健所の被災者への支援のあり方に関する研究
    - 7 都県域を跨いだ都市部の地域医療連携システムの構築
    - 8 地域医療再生計画における保健所の関与に関する研究
    - 9 公衆衛生医師の確保・人材育成に関する調査及び実践事業
    - 10 精神障害者アウトリーチにおける保健所の果たすべき役割に関する研究
  - ② 中間報告会（12月17日）および発表会（3月4日）
  - ③ 平成 25 年度地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）の募集  
会員へ平成 25 年 2 月 20 日地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）を募集し、  
3 月 27 日締め切った。
- (4) 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
  - ① 全体研究会議（6月14日、12月6日）およびフォーラム（2月23日）
  - ② 研究班報告書提出（1月下旬）および発表会（3月4日）
- (5) 院内感染対策における感染対策協議会への要望提出  
院内感染について保健所が病院に対して助言、指導を行う場合に、保健所に対して専門的な支援をお願いする旨の要望書を9月24日に国公立大学附属病院感染対策協議会および私立医科大学病院感染対策協議会へ提出
- (6) 地域保健総合推進事業（国際協力事業）
  - ① 米国公衆衛生協会第 140 回年次総会への派遣者の推薦および派遣（3名）
  - ② WHO 本部保健医療事情調査への派遣者の推薦及びの派遣（5名）  
派遣応募者を会員から募り、日本公衆衛生協会へ推薦を行い、派遣した。

#### 4) 研修担当報告

平成25年度全国保健所長会研修会

(1) テーマ：保健所機能の強化はどうあるべきなのか

—「精神保健福祉法改正」と「医療介護連携及び地域包括ケア」への対応—

(2) 日時：平成26年1月30日(木) 13:00～17:45

1月31日(金) 9:15～15:10

(3) 場所：千代田区いきいきプラザ一番町カスケードホール

(4) 内容：

<1日目> 「精神保健福祉法改正と保健所の役割」

13:00～13:15 オリエンテーションと挨拶

13:15～14:45 講演

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律と精神保健福祉行政の現状」

厚生労働省社会援護局 北島智子 精神・障害保健福祉課長

14:45～15:15 報告「医療の機能分化に関する検討会」 倉橋俊至副会長

休憩 10分

15:25～16:15 講演 「地域から保健所の精神保健に期待すること」

岩上洋一 PSW (埼玉県：特定非営利活動法人じりつ代表理事)

16:15～17:05 報告「保健所の役割についての保健所機能強化委員会での検討」

柳尚夫 兵庫県洲本保健所長 (強化委員会)

17:05～17:45 総合討論

18:00～ 意見交換会

<2日目> 「医療介護連携と地域包括ケアにおける保健所の役割」

9:15～9:20 オリエンテーション

9:20～10:20 講演「医療介護連携の基本的な方針」(仮題)

厚生労働省 医政局指導課 在宅医療推進室

奈倉道明 室長補佐

10:20～11:20 講演「地域包括ケアのあり方」(仮題)

厚生労働省 老健局老人保健課

逢坂悟郎 医療・介護連携技術推進官

11:20～12:20 報告「保健所の医療連携における実践事例」

柳尚夫 兵庫県洲本保健所長 (地域保健機能強化委員会)

12:20～13:20 昼食休憩

13:20～14:20 報告「医療介護連携の保健所の実践と可能性」

大江浩 富山県砺波厚生センター長 (地域保健機能強化委員会)

14:20～15:00 総合討論

15:00～15:10 閉会挨拶

## 5) 広報担当報告

全国保健所長会 Web サイトの作成、管理及び運営を行っています。

閲覧しやすさとともに、内部の複雑なリンクの解消やリンク切れの修正等を行い、今年 9 月に Web サイトのリニューアルを行いました。平成 25 年 9 月 5 日に一斉メールにてリニューアルの案内を行い、更新作業及び更新を 9 月 9 日に行いました。

コンテンツにつきましては、全国各地域の公衆衛生医師募集の更新頻度が最も多いのですが、時期によっては数週間更新ができないこともありました。そこで、迅速な更新のために、今後、更新作業については外部委託も含めて広報担当理事会で検討してまいります。

現在、地域保健法第 7 条に示されている保健所の調査・研究事業として重要な、全国保健所長会協力事業である地域保健総合推進事業等の報告書の電子化の作業を続けており、掲載可能な過去 5 年分を目途に報告書を電子ファイル化し、整理の上、順次、掲載することとしています。平成 25 年度に行った主な事業は以下のとおりです。

### (1) 全国保健所長会ホームページのリニューアル

全国保健所長会のホームページは、作成されたホームページを、担当となった広報担当理事が時間、労力を割いて更新してきており、業務外の時間を利用して管理運営を行ってきた。

昨年、ホームページ内の整理を行うために、重複したいくつかのファイルを削除したところ、新たなリンク切れが発生したため、業者に依頼してリンク数やリンク切れの点検を行ったが、修正のためには多くの手間と専門的な対応が必要であることが判明した。(総ファイル数：18,538 個 (内部 12,435, 破損 2,014, 外部 4,089))

このため、内部的なリンクの整理とともに、全体的なホームページのレイアウトの修正等、枠組みの大幅な見直しも行った。

さらに、更新の迅速性とバックアップの確実性を上げるため、コンテンツの内容の点検は現行通り広報担当でチェックを行い更新作業については業者に委託することや、複数によるバックアップ体制の整備を考えている。

### (2) 地域保健総合推進事業等の報告書の電子化

過去 5 年分を目途に報告書を電子ファイル化し、整理の上、順次、掲載を予定しているが、事務局に紙ベースでしか残っていない報告書や、報告書をまとめた主任研究者の退職等によりファイルが見当たらないケースもあるので、共同研究者に連絡することもあるので会員各位の協力をお願いしたい。

### (3) 雑誌「公衆衛生情報」への原稿について

平成 24 年度の原稿依頼を予定通りに終了でき、会員のご協力に感謝したい。平成 25 年度も継続して雑誌「公衆衛生情報」へ原稿（「保健所活動最前線」、「東日本大震災」、「期待の若手シリーズ」、「全国保健所長会だより」、「市町村活動自画自賛」）を提供してゆくこととしている。以下、原稿の執筆者について記載した。平成 26 年度はコンテンツを一部変更して、「過去の危機管理事例」及び「使えるソーシャルキャピタル」に関する記事の掲載について検討中であり、平成 26 年度分も早めに執筆者を決めて行きたいので、原稿の提供等について会員各位の御協力を御願いたい。

#### ①「保健所長便り」について

全国保健師長会が偶数月を担当し、保健所長便りは奇数月の連載となっている。

5月号「地域保健総合推進事業報告会について」 遠藤幸男氏（福島県北保健所長）

7月号「予算に関する要望書」 大江浩氏（富山県砺波厚生センター所長）

9月号「第72回日本公衆衛生学会総会のご案内」 中山 治氏（三重県津保健所長）

11月号「ホームページのリニューアルについて」 山口亮（旭川市保健所長、広報担当）

1月号「健康危機管理に関する委員会報告」 大橋俊子氏（栃木県北健康福祉センター所長、危機管理委員会委員長）

3月号「全国保健所長会研修会報告」 柳尚夫氏（兵庫県洲本保健所長、研修担当）

② 公衆衛生情報誌への掲載「期待の若手シリーズ」について

若手（定義は「実年齢にかかわらず、心が若い人は若手」とします）の方の原稿を募集する。平成25年度分の掲載済み、掲載予定は以下の通り。

4月号 本屋敷美奈氏（大阪府こころの健康総合センター相談・地域支援課主査）

5月号「立ち止まることで気づくことができた「公衆衛生医師」という新たな選択肢」  
江橋正浩氏（元茨城県ひたちなか保健所地域保健推進室）

6月号「行政医の魅力は未来の社会を見据えた課題に取り組むこと」  
河合貴文氏（名古屋市中保健所医師）

7月号「これまでも、これから、人との出会いとつながりを  
大切にした公衆衛生活動を」  
村下伯氏（島根県健康福祉部医療政策課医療企画監）

8月号「公衆衛生の復興をめざして」  
北川信一郎氏（京都市上京区保健センター担当課長）

9月号「泌尿器科医から転身した私が感じる保健所勤務医のやりがいと可能性」  
武智浩之氏（群馬県伊勢崎・安中・藤岡保健福祉事務所技師長）

10月号 大原宰氏（北海道名寄保健所長）

11月号 橋本弥生氏（福岡県糸島保健所副保健監）

12月号 照井有紀氏（宮城県東部保健福祉事務所 技術副参事兼技術次長）

1月号 杉谷亮氏（島根県出雲保健所）

2月号 国吉秀樹氏（那覇市保健所）

3月号 加納紅代氏（富山県厚生部健康課）

③ 「市町村活動 自画自賛」

テーマは up-to-date な課題（大震災関連含む）や市町村の機能として欠かせない業務とし、地域保健総合推進事業（全国保健所長会協力事業）、日本公衆衛生学会総会での発表事例、奨励賞受賞者の活動から、県型、市型保健所のバランスを考慮しながら選定。

4月号「市内13機関の連携強化で地域医療の充実をめざす」  
人見泰生氏（枚方市健康部長）

5月号「健康長寿のまちづくり」市民運動」  
中村誠氏（延岡市健康福祉部健康長寿推進室）

6月号「総合相談対応から地域課題の解決をめざす」

- 長谷部裕子氏（南アルプス市保健福祉部福祉総合相談課相談支援担当）
- 7月号「地域での健康づくりの担い手とともに課題に取り組む」  
林 恵子氏（出雲市役所健康増進課健康企画係）
- 8月号「住民の目線をいかした健康づくり～運動と食の改善を重点に～」  
鈴木美智子氏（足寄町福祉課保健福祉室保健推進担当）
- 9月号「復興から立ち上がる保健活動南相馬市母子愛育会発足の軌跡」  
鴨原ひとみ氏（南相馬市健康づくり課健康企画係）
- 10月号 東京都健康安全研究センター 健康危機管理情報課
- 11月号 <保健所長会東海北陸ブロック長ご推薦>
- 12月号「健康づくり条例やメジャーリーグの取り組み、未受診者への職員総出の勧奨」  
糸島市 健康づくり課 林補佐（保健師）
- 1月号 <検討中>
- 2月号 <検討中>
- 3月号 高知県安芸市<保健所長会中四国ブロック長ご推薦>
- ④ 東日本大震災から1年
- 4月号「被災地の保健医療提供体制の再構築に向けて」  
柳原博樹氏（岩手県宮古保健所長）
- 5月号「絆」  
坂東毅彦氏（仙台市宮城野保健所長）
- 6月号「いわき市の地域医療・保健の現状と課題」  
新家利一氏（いわき市保健所長）
- 7月号「国内最大数の避難者を受け入れて」  
山田敬子氏（山形県置賜保健所長）
- 8月号「南三陸町への災害支援と南海地震に備える2年間の取り組み」  
田上豊資氏（高知県中央東福祉保健所長）
- 9月号「ふくしま心のケアセンターの活動を中心に」  
昼田源四郎氏（ふくしま心のケアセンター所長）
- 10月号「東日本大震災カウンターパート方式と滋賀県の対応(案)」  
角野文彦氏（滋賀県健康福祉部次長）
- 11月号 石井正氏（東北大学病院総合地域医療教育支援部長・教授・宮城県  
災害医療コーディネーター）
- 12月号 奥田光崇氏（宮城県石巻兼登米保健所長）
- 1月号 宮崎美砂子氏（千葉大学大学院看護研究科 教授）
- 2月号 鹿野和男氏（宮城県塩釜保健所長）
- 3月号 山口靖明氏（福島県県中保健所長）

### 3. 委員会報告

- 1) 地域保健の充実強化に関する委員会

- 委員会構成 顧問 宇田英典（鹿児島県伊集院） 山中朋子（青森県弘前）  
笹井康典（大阪府枚方：委員長） 藤内修二（大分県中部：副委員長）  
相田一郎（北海道帯広） 城所敏英（東京都島しょ） 本保善樹（北区）  
大江 浩（富山県砺波） 森脇 俊（豊中市） 柳 尚夫（兵庫県洲本）  
伊地智昭浩（神戸市） 牧野由美子（島根県益田） 中原由美（福岡県嘉穂・鞍手）

- 平成 25 年度の取り組み

本委員会は、国の在宅医療の推進や精神保健福祉法の改正の動きに対応して、

(1) 地域における在宅医療の推進

(2) 地域における精神保健医療活動の推進

について、これらに関する保健所活動のあり方や方向性、要望事項等を検討して、会員及び国、都道府県への提案としてとりまとめる。

- 委員会の開催と検討状況

第 1 回委員会：2013 年 6 月 29 日開催、

(1) 地域包括ケアシステムの推進に関する見解（大江委員作成）

(2) 地域精神保健における保健所の役割（柳委員作成）

について意見交換、検討を行った。

第 2 回委員会：2013 年 8 月 30 日開催

前回に引き続き、在宅医療・地域包括ケアシステムの推進に関する見解（大江委員作成）について検討した。この見解については、10 月 22 日の全国保健所長会総会において中間報告を行い、会員の意見を求める予定である。

また、地域精神保健医療分野については、今後の精神保健の課題（本保委員作成）を検討した。なお本年 7 月から国の「精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会」が開催され、倉橋副会長が委員として参加されるため、検討会の議論に向けた意見の収集と検討を行っている。

- 今後のスケジュール

第 3 回委員会：10 月 23 日（水）三重県津庁舎 5 階 第 52 会議室

## 2) 健康危機管理に関する委員会

- 委員会の構成

顧問：倉橋 俊至（渋谷区）、山中 朋子（青森県弘前）

委員：大橋 俊子（委員長：栃木県県北）、中瀬 克己（副委員長：岡山市）、山口 一郎（山形県村山）  
遠藤 幸男（福島県県北）、小窪 和博（千葉県海匝）、古屋 好美（山梨県中北）、  
服部 悟（愛知県衣浦東部）、高岡 道雄（兵庫県加古川）、竹内 俊介（島根県松江）  
中里 栄介（佐賀県杵藤）

- 第 1 回委員会の開催

日時：平成 25 年 7 月 19 日（金） 16：00～17：00 場所：東京・八重洲倶楽部 会議室

- \*平成 25 年度事業内容等検討

(1) 保健所健康危機事例の収集（7 月 2 日依頼発出 8 月 30 日締め切り）及び活用について  
なお、次の重点項目については、事前にメール会議実施して検討した。

・H25年度重点項目（H24年度事例収集）

- 1 大規模食中毒、広域食中毒
- 2 化学物質が原因と思われる健康被害
- 3 医療安全（医療事故）
- 4 結核集団発生
- 5 生活関連有害動物による健康被害（蚊、ダニ、クモ、サソリ、アリ等）

・第2回委員会で詳細報告事例の選定、HP掲載事例の選定を行う

（2）研究班等との連携について

・中瀬班（平成25年度「地域保健総合推進事業」保健所長会協力事業；健康危機における保健所の調整機能の強化に関する研究）との連携

⇒ 健康危機管理体制整備においては、日本版標準 ICS/IAP/AC を基本として継続することについて検討し、理事会にて提言することとした

（3）その他：以下について意見交換し、関係者等と連携を図った

全国保健所長会 HP の活用について ⇒ リニューアルに向けて意見発出

Web 会議について

家畜伝染病と感染症の対策の整合性について ⇒ 内閣府レベルの対応が必要では

\* 第2回委員会の開催予定

10月23日（水）12:00～14:30

三重県津庁舎6階 第64会議室



## [議 事]

第 1 号議案 平成 2 4 年度事業報告（案）及び収入支出決算報告および監査報告（別添資料参照）

第 2 号議案 平成 2 5 年度補正予算（案）について（別添資料参照）

第 3 号議案 平成 2 6 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について（別添資料参照）

第 4 号議案 役員の改選について

## [地域ブロック・部会活動報告]

### 【北海道地域ブロック】

#### 1. 平成25年度第1回総会

日時 平成25年4月18日(木) 15:30～17:00

場所 第2水産ビル 会議室(札幌市)

出席者: 道立保健所長20名、政令市保健所長4名

オブザーバー 保健福祉部荒田技監

<議事>

##### 1) 報告事項

###### ①平成24年度事業報告並びに決算報告について

竹内副会長等より、平成24年度から所長会の事務作業を保健所長が行うように変更になったこと。予算の執行状況についての説明があり、了承された。

###### ②平成24年度会計監査報告について

伊東監事より報告があった。

###### ③全国保健所長会理事会等の報告について

相田会長より報告があった。全国保健所長会としては、今は在宅医療と精神医療のアウトリーチ事業をテーマとしている。

###### ④北海道保健所長会の会務報告について

山本副会長より、昨年度一年間の会務報告があった。

###### ⑤平成24年叙勲及び表彰等の受賞状況について

廣島副会長より報告があった。

###### ⑥その他

学校保健功労者についての推薦依頼があった。

##### 2) 協議事項

###### ①平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について

竹内副会長と森所長より説明があり、承認された。

80周年記念事業等のための基金を創設することになった。

###### ②その他

「ノロウイルスの検査体制」についての提案

フッ化物洗口のデータについての質問

X線検診バスへの医師同乗の可否について 等

#### 2. 平成24年度第1回理事会

日時: 平成25年8月2日(金) 13:30～17:30

場所: 道庁6F保健福祉部1号会議室

出席: 道立保健所理事10名、政令市保健所理事2名、

オブザーバー保健福祉部技監

<議事>

##### 1) 報告事項

###### ①全国保健所長会理事会等について

相田会長より報告

②各種表彰の推薦状況について

廣島副会長より報告

③会務報告について

山本副会長より報告

④各委員会等からの報告

組織機構改革について

竹内副会長から説明

行政医師募集パンフレットの作成

現在使用しているパンフレットが払底したので、山本副会長等が新たに作成する。

2) 協議事項

①80周年記念事業に係わる特別積立金について

竹内副会長から特別積立金の創設が承認されたが、会則の一部改正が必要。

改正案については承認され、総会へ提案することになった。

3) その他

①所長会研修

来年3月15日に開催する。研修については、山本副会長と古畑理事が担当する。

②所長会関係資料

本庁提供資料については、欠席した理事へは本庁から送付し、ブロック内所長へは各理事から送付。

③北海道公衆衛生学会について

技監より、参加者減少が著しいので、可能な限り参加して欲しい。

3. 「保健所地域連携検討会（北海道ブロック）」

日時：平成24年7月30日（月）～31日（火）

場所：かでの2. 7

内容：

○テーマ：地域保健

講義「地域保健の現状と話題」

講師：厚生労働省健康局がん対策・健康増進課がん対策推進官 岡田就将

○テーマ：危機管理体制

講義「旭川市における災害発生時における初動対応について」

講師：旭川市保健所 所長 山口 亮

講義「旭川市保健所災害対応研修報告」

講師：旭川市保健所 保健指導課地域保健第2係 山口 理恵

○テーマ：原子力災害

講義「放射能関連施設災害への対応」

講師：愛媛県中予保健所 所長 竹之内 直人

講義「緊急被ばく医療活動」

講師：倶知安保健所兼岩内保健所 所長 廣島 孝

討議「保健所の体制について」

○テーマ：在宅医療

説明「医療計画における在宅医療の推進について」

講師：保健福祉部医療政策局医療薬務課 主査 川上 禎之

討議「在宅医療推進に向けた検討」

助言者 保健福祉部 技監 荒田 吉彦

○テーマ：災害医療における保健所の役割

講義「東日本大震災におけるDMAT活動と災害医療の指揮調整」

講師：国立病院機構災害医療センター 診療部 政策医療企画研究室長

厚生労働省医政局災害医療対策室

DMAT事務局 次長 近藤 久禎

○テーマ：災害に備えた保健医療体制

講義「災害発生時の行政の役割 ―北海道都市型地震災害対処訓練について―

講師：保健福祉部道立病院室 医療参事 伊藤靖

## 【東北地域ブロック】

### 1. 第1回理事会

日 時 平成25年5月23日（木）14:00～14:50

会 場 青森市 ホテル青森

出席者 12名（欠席1名）

会長遠藤幸男（福島県北保健所長）を議長に選出し、次の事項について協議した。

(1)平成25年度総会の運営について

総会に提案する議案について審議し原案どおり承認された。

(2)報告事項

ア 東北地区保健所長会の役員改選について

会長・副会長・監事の選出について協議のうえ決定した。

理事会で決定した役員体制について、総会に報告することとされた。

イ 全国保健所長会の役員について

新しく選出された会長・副会長を新理事とし、そのほかは継続することとして総会に報告することとされた。

(3)その他

ア 平成26年度の総会日程の時期について

例年通り5月第4週木、金の予定とし、詳細は第2回理事会で決定することとされた。

イ 東北ブロック保健所連携推進会議について

来年度以降の開催時期について、総会を含め多くの保健所に出席いただけるよう引き続き検討してゆくこととされた

### 2. 総会

日 時 平成25年5月23日（木）15:00～16:30

会 場 青森市 ホテル青森

出席者 19名、委任状25名

来賓祝辞 青森県健康福祉部 江浪武志部長

(1) 報告事項

ア 東北地区保健所長会の役員について

規約第5条に基づき、役員改選により選出された役員名簿及び全国保健所長会の役員名簿について報告。

(2) 議事

開催地会員である、宮川隆義青森県保健所長会長を議長に選出して議事が進められ、ア～ウの議案がいずれも原案どおり承認された。

ア 平成24年度事業報告(案)並びに収支決算(案)(監査報告)について

イ 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ 平成25年度理事会及び総会の開催(案)について

3. 「東北ブロック保健所連携推進会議」

日時 平成25年5月24日(金) 10:00～16:00

会場 青森市 ホテル青森

参加者 30名

目的: 広域自然災害への対応を中心に、ICSの概念が浸透しつつあるため、東北ブロックとしては、自然災害と健康危機管理(感染症、食中毒、飲料水、原子力災害、医療安全、精神保健、生活環境、原因不明)の分野の中から、優先度の高い感染症を選定し、保健所の体制等の構築について検討する。

[話題提供] 「地域保健の現状と課題」

講師 笠松 淳也 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐  
座長 大熊 恒郎 仙台市青葉保健所長

[講義1] 「健康危機管理における保健所の体制整備と準備状況」

講師 中瀬 克己 岡山市保健所長  
座長 菅原 智 岩手県県央保健所長  
阿部 孝一 郡山市保健所長

[グループディスカッション]

参加者を4グループに分け、講演1について議論し、各グループより発表を行った。

[講義2] 「大規模感染症における日本版標準ICS/IAP/AC」

講師 遠藤 幸男 福島県県北保健福祉事務所長  
座長 山口 一郎 山形県村山保健所長

[総括]

笠松 淳也 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室室長補佐  
佐々木隆一郎 全国保健所長会長  
多田羅浩三 日本公衆衛生協会会長  
(進行担当 小松 真吾 秋田県横手兼湯沢保健所長)

【関東甲信越静地域ブロック】

1. 総会

日時: 平成25年7月5日(金) 13:00～14:30

場所: 神奈川県川崎市川崎区 ミューザ川崎シンフォニーホール4階「研修室」

出席者：新潟県 1 人、茨城県 3 人、栃木県 1 人、群馬県 4 人、埼玉県 3 人、千葉県 9 人、  
神奈川県 4 人、川崎市 5 人、山梨県 3 人、長野県 3 人、静岡県 4 人。

会員出席者 計 40 人

委任状： 59 人

出席者+委任状 合計 99 人/103 名（118 保健所）

1) 総会成立確認、開会挨拶

関東甲信越静ブロック保健所長会会長 雨宮 文明（川崎市保健所所長会会長、川崎保健  
所長）

2) 来賓祝辞 川崎市健康福祉局長 伊藤 弘

3) 議事 議長：川崎市保健所長会会長 雨宮 文明

(1) 平成 24 年度収支決算及び平成 25 年度収支予算（案）について：資料に基づき、事務  
局より説明後、全会一致で了承された。

(2) 提案議案

①地域における災害時医療体制の構築へ向けた保健所としての取組みについて（川崎市提  
案）

【情報提供】新潟県南魚沼保健所長 須藤 祐悦、静岡県富士保健所長 後藤 幹生

②鳥インフルエンザ A (H7N9) の対応状況について(川崎市提案)

【情報提供】栃木県北保健所長 大橋 俊子、山梨県中北保健所長 古屋 好美

(3) 次期開催について：群馬県

(4) 報告事項

①ブロック選出理事について

川崎市川崎保健所長 雨宮 文明、山梨県中北保健所長 古屋 好美

群馬県東部保健所 早乙女 千恵子

②第 70 回全国保健所長会案内及び平成 25 年度関東甲信越静ブロック保健所推進連携会議  
案内

(5) その他

2. 研修会（総会后、借り上げバスで移動 15 時 15 分～17 時 15 分）

場所：川崎市健康安全研究所

講演 演題：「新たな感染症の発生と保健所・地衛研の役割」

講師：川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦

3. 保健所連携推進会議（予定）

1) テーマ：健康危機管理における保健所の体制強化及び保健所支援体制の構築

2) 趣旨：昨年度は、広域自然災害発生時の保健所の対応を想定して ICS/IAP/AC の概念を理解  
すると共に、地域の課題抽出とその解決策についてグループディスカッションを実施した。

今年度は、「地域保健の現状と課題」、「健康危機管理における最近の動向」、そして「健康  
危機管理における保健所の体制整備及び感染症対策の構築について」の 3 題の講義を拝聴し  
た上で、自然災害以外の健康危機管理の分野として「感染症」を選び、保健所の体制の構築  
等についてシナリオを題材にしたグループディスカッションを行い情報と認識の共有を図る。

3) 日時：平成 25 年 11 月 8 日（金）10：00～16：45

4) 場所：川崎市中原区役所 5 階会議室

【東京地域ブロック】(会員数 計 31 人：特別区 23 人、東京都 6 人、八王子市 1 人、町田市 1 人)

## 1. 年次総会

1) 日時・会場：平成 25 年 4 月 18 日 (木) 於 区政会館

2) 出席者：出席 26 人、委任状 5 人

### 3) 議事

(1) 平成 24 年度事業報告：承認

(2) 平成 24 年度決算報告、会見監査報告：承認

(3) 平成 25 年度事業計画：承認

(4) 平成 25 年度予算：承認

(5) 役員選出

会長 倉橋 (荒川区)

副会長 早川 (多摩小平)

庶務幹事 田中 (千代田区)、田原 (多摩府中)

会計 広松 (渋谷区)、木村 (西多摩)

監事 浦山 (江東区)、大黒 (多摩立川)

### 4) 新会員紹介

城所 (島しょ)、

田中 (千代田区)、大地 (港区みなと)、成田 (世田谷区)、広松 (渋谷)、寺西 (中野区)

## 2. 研修会

### 1) 講演会

日 時：平成 25 年 4 月 18 日 (木) 於 区政会館

演 題：世界の疾病負担 ( GBD 2010 ) 研究から見た我が国の保健医療

講 師：東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室 渋谷健司 教授

参加者：会員 25 人、その他 6 人 計 31 人

### 2) 平成 25 年度保健所地域連携検討会

テーマ：健康危機管理における保健所の体制強化及び保健所支援体制の構築  
～保健所における MERS 等新興感染症対策について～

日 時：平成 25 年 8 月 28 日 (水) 午前 10 時から午後 4 時 30 分まで

場 所：アルカディア市ヶ谷 5 階 穂高 西

参加者：会員 18 人、その他 6 人、計 24 人

## 3. 懇親会

日 時：平成 25 年 5 月 16 日 (木) 午後 7 時より 9 時まで

場 所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 イーストルーム

参加者：保健所長 24 人、退職保健所長 5 人、来賓 11 人、計 40 人

退職者：友松 栄二 (前西多摩保健所長)

赤穂 保 (前南多摩保健所長)

梶山 純一 (前島しょ保健所長)

金田 麻里子 (前荒川区保健所長)

佐藤 恭信 (前江戸川保健所長)

新会員：城所 敏英 (島しょ)、田中 敦子 (千代田区)、大地 まさ代 (港区みなと)、

成田 友代（世田谷区）、広松 恭子（渋谷）、寺西 新（中野区）

【東海北陸地域ブロック】

1. 第1回役員会

日 時 平成25年5月24日（金）13:30～15:30  
場 所 レセプションハウス 名古屋通信会館7階 扇の間  
議 題

- (1) 平成25年度東海北陸ブロック保健所長会役員について
- (2) 平成25年度東海北陸ブロック保健所長会総会について
- (3) 全国保健所長会からの情報について
- (4) 保健所連携推進会議について
- (5) その他（意見交換等）

2. 第2回役員会

日 時 平成25年7月26日（金）11:30～12:00  
場 所 レセプションハウス 名古屋通信会館7階 扇の間  
議 題

- (1) 平成25年度東海北陸ブロック保健所長会総会等について
- (2) その他（全国保健所長会長選挙について）

3. 総会

日 時 平成25年7月26日（金）12:30～12:50  
場 所 レセプションハウス 名古屋通信会館6階 菊の間  
議 題

- (1) 平成24年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告（案）及び収支報告（案）について

(2) 平成25年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画（案）について  
報告事項

- (1) 平成25年度全国保健所長会第1回理事会報告
- (2) その他（第70回全国保健所長会総会（案）について等）

4. 保健所連携推進会議

日 時 平成25年7月26日（金）13:00～17:00  
場 所 レセプションハウス 名古屋通信会館6階 菊の間

(1) 開催挨拶

主催者挨拶 日本公衆衛生協会長 多田羅浩三  
会議趣旨説明 全国保健所長会長 佐々木隆一郎  
開催県挨拶 愛知県健康福祉部健康担当局長 加藤昌弘

(2) 講演Ⅰ

演 題 「地域保健の現状と課題」  
講 師 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課  
がん対策推進官 岡田就将  
座 長 愛知県衣浦東部保健所長 服部 悟

(3) 講演Ⅱ

演 題 「健康危機管理における保健所の体制整備と準備状況」  
講 師 岡山市保健所長 中瀬克己  
演 題 「重大感染症における保健所の対策と連携」  
講 師 茨城県筑西保健所長 緒方 剛  
座 長 愛知県豊川保健所長 澁谷いづみ

(4) グループディスカッション

全参加者を6グループに分け、日本版ICS/IAP/ACに基づき、企業との情報共有等を含めた新型インフルエンザ等の蔓延防止対策の連携構築に向けて、事前の情報収集（アンケート）等を基に、具体的な連携方法・項目について検討した。

各グループからの発表（5分×6グループ 30分）

コーディネーター 岡山市保健所長 中瀬克己



茨城県筑西保健所長 緒方 剛  
愛知県西尾保健所長 杉浦嘉一郎

(5) 総括

日本公衆衛生協会長 多田羅浩三  
全国保健所長会会長 佐々木隆一郎

【近畿地域ブロック】

1. 平成 25 年度第 1 回役員会

- 1) 日時 平成 25 年 4 月 12 日 (金) 13:30～16:00
- 2) 場所 大阪市 大阪市保健所
- 3) 議事
  - (1) 役員の変替について
  - (2) 平成 24 年度決算 (案) 及び平成 25 年度収支予算 (案) について
  - (3) 第 65 回近畿保健所長会総会の運営について

2. 第 65 回近畿保健所長会総会

- 1) 日時 平成 25 年 5 月 30 日 (木) 13:00～16:30
- 2) 場所 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター
- 3) 内容

<表彰> (平成 24 年 5 月 30 日開催の第 51 回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考)

- ◆高齢者施設における結核と感染症対策  
～施設に対するアンケート調査結果から～ (奈良市保健所)
- ◆神戸市北区の学習塾における感染症対策の現状と課題  
～神戸モデル対策の一例～ (神戸市北区保健福祉部)
- ◆姫路市における特定不妊治療費助成事業の評価について  
～特定不妊治療成績とその出生児の状況～  
(姫路市保健所・姫路市中央保健福祉サービスセンター)

<議事>

- ①平成 24 年度事業報告及び収支決算報告について
- ②監査報告について
- ③平成 25 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
- ④役員の変替について (報告)
- ⑤提案議題
  - ・歯科口腔保健推進に関する各地域の取り組みについて (滋賀県)
  - ・保健所長の確保について (和歌山県)

【中国・四国地域ブロック】

1. 第 1 回中四国ブロック保健所長会理事会

日 時：平成 25 年 7 月 1 日 (月) 14:00～17:00  
場 所：岡山県岡山市 サン・ピーチ OKAYAMA  
出席者：9 名 (理事 8 名、オブザーバー 1 名)  
議 題：

①中四国ブロック保健所長会総会（香川県開催）の運営について

日時 平成 25 年 9 月 5 日（木）13:00～13:45

場所 香川県高松市 マリンパレスさぬき

- ・平成 24 年度事業報告について
- ・平成 24 年度収支決算状況報告について
- ・平成 25 年度事業計画案について
- ・平成 25 年度予算案について

②地域保健総合推進事業保健所地域連携検討会の運営について

日時 平成 25 年 9 月 5 日（木）14:00～ 9 月 6 日（金）12:00

場所 香川県高松市 マリンパレスさぬき

- ・プログラムの確定
- ・テーマの決定

【テーマⅠ】健康危機管理における保健所の体制整備及び保健所支援体制の構築  
について：地域医療安全（医療サージ）

【テーマⅡ】在宅医療・在宅介護連携・地域包括ケアの推進における保健所の役割

- ・参加者へのアンケート

今年度の統一アンケートに、テーマⅠ・テーマⅡに関連した項目を追加する。

- ・役割分担と運営

③中四国ブロック保健所長会規約について

別紙：会長、全国保健所長会理事、総会開催県について意見交換した。

【九州地域ブロック】

1. 第 1 回理事会（沖縄県）

日 時 平成 25 年 7 月 18 日（木）12:00～13:30

場 所 沖縄県市町村自治会館（那覇市）

出席者 理事 10 名、監事 2 名

議 事

1) 報告事項

①監事の変更

監事 1 名の任期満了により、大分県中部保健所の藤内所長に代わり沖縄県南部保健所の上原所長が就任

②理事の変更等（2 名の理事が変更）

熊本県 迫田理事，大分県 藤内理事

2) 議題

①平成 24 年度事業報告及び決算案、監査報告

熊本市で 7 月 12 日～13 日の 2 日間、第 1 回理事会・総会・意見交換会・研修会を開催し、福岡市で第 2 回理事会を開催（1 月 17 日）した。

9 月 26 日に福岡市において、「災害時における保健所の地域保健調整機能強化について」のテーマのもと、保健所地域連携検討会を開催した。

②平成 25 年度事業計画及び予算案

理事会は、2回開催予定（沖縄県・宮崎県）

総会・研修会は、沖縄県那覇市で開催予定

鹿児島市において「保健所連携推進会議（九州ブロック）」を開催予定

③各県・市の提出議題について

④今後の事業方針について

⑤平成26・27年度の総会・理事会の開催地について

平成26年度第1回理事会・総会は福岡県、第2回理事会は福岡市に決定

平成27年度第1回理事会・総会は大分県、第2回理事会は鹿児島県を予定

⑥ブロック会長と全国理事の持ち回りについて

会長は平成25年度まで鹿児島県。

全国理事については、平成25年度は宮崎県、福岡県が就任。26・27年度は沖縄県と佐賀県の就任を予定。ブロック会長は理事県の互選による。

⑦その他

総会で全国保健所長会理事会の報告、保健所連携推進会議開催及び公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナーの紹介を行いたい旨を議長から説明。

①～⑥について、理事会で承認

## 2. 総会

日時 平成25年7月18日（木）14:00～17:00

場所 沖縄県市町村自治会館（那覇市）

出席者 22名（欠席50名のうち委任状49名により総会成立）

議事

### 1) 議題

①平成24年度事業報告及び決算案、監査報告

②平成25年度事業計画及び予算案

③各県・市の提出議題について（議題9件）

- ・美容外科の立入検査について
- ・要介護施設，一般病院，精神科病院及び児童福祉施設における身体拘束の取り扱いについて
- ・保健所地域職域連携協議会に係わる議題や協議事項及び委員の選定について
- ・地震・大規模災害発生時の保健所としての初動体制について
- ・保健所長会の運営について
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組み
- ・ソーシャルキャピタルを活用した健康なまちづくりに向けての取り組み
- ・保健所における風しん対策について ～保健所職員の予防接種について～
- ・微小粒子状物質（PM2.5）対策について

#### 【要望】

・診療放射線技師法第26条第2項第2号の解釈について（国への要望）

・県境の地域で発生した感染症患者の搬送先医療機関の確保について

（「九州各県保健医療福祉主管部長会議」への要望）

④今後の事業方針について

⑤平成 26・27 年度の総会・理事会の開催地について

ローテーションを再確認し、平成 26 年度開催地の福岡県及び福岡市を決定。

平成 27 年度開催地の大分県及び鹿児島県を了承。

⑥ブロック会長と全国理事の持ち回りについて

会長は平成 25 年度まで鹿児島県。

全国理事については、平成 25 年度は宮崎県、福岡県が就任。26・27 年度は沖縄県と佐賀県の就任を予定。ブロック会長は理事県の互選による。

⑦その他

宇田会長から第 1 回全国保健所長会理事会報告、保健所連携推進会議開催及び公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナーの紹介等

①②④⑤⑥については、理事会での協議どおり承認された。

### 3. 研修会

日 時 平成 25 年 7 月 19 日（金）9:20～12:00

場 所 沖縄県市町村自治会館（那覇市）

内容等

・挨拶 沖縄県福祉保健部長 崎山 八郎

・講演 1 「多目的コホート研究の成果とがん予防」

講師 独立行政法人 国立がんセンター

がん予防・検診研究センター 津金 昌一郎 センター長

・講演 2 「沖縄県における海洋危険生物被害防止への取り組みについて」

講師 沖縄県衛生環境研究所 ー衛生科学班ー 安座間 安仙 研究員

### 【指定都市部会】

#### 第 70 回全国保健所長会指定都市部会保健所長会

##### 1. 会議

日 時 平成 25 年 7 月 11 日（木）14:00～17:00

場 所 オークラ千葉ホテル（千葉市中央区）

出席者 19 都市 23 保健所長（欠席：1 都市）

議 事：

（1）指定都市部会会長・副会長の選出について

会長に竹中 章（福岡市南保健所長），副会長に明石都美（名古屋市中保健所長）が選出された。

（2）議題

①児童虐待防止に係る特定妊婦の支援について

②クドアを原因とする食中毒事件の行政処分について

（3）承り事項

①風しん対策としての啓発と予防接種について

②立ち入り検査の体制について

③医療機関内に設置される家族宿泊施設への旅館業法の適用について

④原爆被爆者健康診断の実施状況について

⑤結核患者接触者検診におけるT-S-P-O-T, T-Bの導入状況について

⑥レジオネラ症患者が入浴施設を利用したことが判明した場合の対応について

2. 意見交換会

3. 施設視察

日 時 平成 25 年 7 月 12 日 (金) 8 : 00 ~ 12 : 00

場 所 独立行政法人 放射線医学総合研究所 (千葉県稲毛区)

【特別区部会】(会員数 特別区 23 人)

1. 年次総会

1) 日時・会場:平成 25 年 4 月 18 日 (木) 於 区政会館

2) 出席者 19 人 委任状 4 人

3) 議事

(1) 平成 24 年度事業報告:承認

(2) 平成 25 年度事業計画:承認

(3) 役員選出

会長 倉橋 (荒川区)

副会長 矢内 (台東区)

ブロック幹事 (1) 田中 (千代田区)、(2) 矢内 (台東区)、(3) 広松 (渋谷区)

(4) 石原 (豊島区)、(5) 浦山 (江東区)

全国保健所長会代議員 倉橋、浦山、矢内、田中、石原

2. 定例会 (定例開催:特別区保健衛生主管部長会終了後)

4 月 11 日 区政会館

1 総会について

2 懇親会について

3 東京都主催各種委員会の委員推薦依頼について

5 月 2 日 区政会館

1 東京保健所長会専門部会について

2 東京都主催各種委員会の推薦委員について

3 全国保健所長会会長表彰の候補者推薦について

保健所長会会長表彰候補者は、目黒区、品川区から推薦する

4 全国保健所長会名誉会員推薦について

名誉会員には金田前荒川区保健所長を推薦する

5 新型インフルエンザ対応にかかわる連絡先の扱いについて

6 その他 (情報提供)

特別区保健所長会の HP について

公益社団法人東京都環境衛生協会設立祝賀会について (5/21)

平成 25 年度専門研修「公衆衛生行政」について (特別区研修所)

東京保健所長会懇親会について

6 月 13 日 区政会館

- 1 東京保健所長会専門部会について
  - 保健政策部会（10名） 石原会長
  - 医療政策部会（10名） 細川会長
  - 健康安全部会（11名） 大黒会長
- 2 全国保健所長会会長表彰 推薦候補者の決定について
  - 目黒区保健所 関野保幸（食品監視）
  - 品川区保健所 小林祐子（保健師）
- 3 全国保健所長会 名誉会員推薦について
  - 前荒川区保健所長 金田麻里子
- 4 公衆衛生協会主催 平成25年度東京ブロック「保健所連携推進会議」について
  - 日程とテーマについて
- 5 全国保健所長会総会について
  - 日時と場所について
- 6 全国保健所長会次期会長等選出に係る推薦委員会委員の選出及び
  - 会長等候補者の推挙について
  - 推薦委員会 委員 台東区 矢内 所長（理事）
  - 監事 候補者 豊島区 石原 所長（代議員）
- 7 保健所における公衆衛生実習について
  - 東京都福祉保健局保健政策部長 高橋郁美部長が現状説明と協力依頼（了承）

7月4日 区政会館

- 1 保健所における公衆衛生実習受け入れ状況調査について
  - 保健政策部が7月中に実施（了承）
- 2 保健所連携推進会議（東京ブロック）の開催について
  - 日時 平成25年8月28日
  - 場所 アルカディア市ヶ谷

8月2日 東京都児童相談センター

- 1 保健所連携推進会議（東京ブロック）について
  - テーマ 健康危機管理における保健所の体制強化及び保健所支援体制の構築  
～保健所における MERS 等新興感染症対策について～
- 2 東京都児童相談センターの機能について（施設紹介説明および見学会）

### 3. 研修会等（東京保健所長会として共同開催）（再掲）

#### 1) 講演会

日 時：平成25年4月18日（木） 於 区政会館  
 演 題：世界の疾病負担（GBD 2010）研究から見た我が国の保健医療  
 講 師：東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室 渋谷健司 教授

#### 2) 平成25年度保健所地域連携検討会

日 時：平成25年8月28日（水）午前10時から午後4時30分まで  
 場 所：アルカディア市ヶ谷 5階 穂高 西  
 テーマ：健康危機管理における保健所の体制強化及び保健所支援体制の構築  
 ～保健所における MERS 等新興感染症対策について～

### 3) 懇親会

日 時：平成 25 年 5 月 16 日（木）午後 7 時より 9 時まで

場 所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21 階 イーストルーム

#### 【政令市部会】

##### 1. 部会構成員（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- ・中核市 42 市、政令市 8 市 ※那覇市が新規加入
- ・保健所数 50（各市 1 保健所）

##### 2. 活動報告（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日）

- （1）平成 24 年度決算・事業報告および平成 25 年度予算・事業計画の承認（書面審議）  
承認については、5 月 29 日付で会員市へ報告
- （2）政令市保健所間における調査等の実施
  - ①譲渡対象動物の管理方法等について（宇都宮市）
  - ②医師確保の取り組みについて（青森市）
  - ③胃がん検診等について（長崎市）
  - ④胸部レントゲン検診（肺がん検診）の実施状況について（倉敷市）
  - ⑤特定感染症検査事業について（長崎市）

#### 【会長及び監事推薦委員会経過報告】

6 月 4 日 会長名で各地域ブロック・部会代表者あてに、推薦委員会委員の選出及び会長・監事候補者の推挙について依頼（6/30 締め切り）

6 月 30 日 会長候補者 2 名（定数 1）、監事候補者 3 名（定数 3）の推薦があった。  
同日、推薦委員会委員（11 名）が決定した。（敬称略）

北海道ブロック	北海道帯広保健所	相田 一郎
東北ブロック	岩手県県央保健所	菅原 智
関東甲信越静岡ブロック	川崎市川崎保健所	雨宮 文明
東京ブロック	東京都島しょ保健所	城所 敏英
東海北陸ブロック	福井県丹南保健所	武藤 眞
近畿ブロック	大阪府枚方保健所	笹井 康典
中国・四国ブロック	島根県出雲保健所	岸本 泰子
九州ブロック	福岡県糸島保健所	宮崎 親
指定都市部会	仙台市青葉保健所	大熊 恒郎
政令市部会	長崎市保健所	早田 篤
特別区部会	台東区台東保健所	矢内 真理子

7 月 8 日 メールによる互選により、委員長に相田委員を選出

7 月 10 日 委員相互宛て一斉メールによる意見交換を開始。

7 月 12 日 おおまかなスケジュール案、メールによる意見交換をもって委員会開催に代えること、及びメール交換ルールなどについて決定。

7 月 25 日 「会長候補者のお考え」を把握するため、各会長候補推薦者に「推薦理由の追加」を求め、提出を受けた。

<選考過程について>

意見交換していく中で、複数の委員より「お二人の会長候補者は、現在のわが国の保健衛生行政や本会の課題をどのように捉え、今後どのように取り組もうとしているのか、について把握したい」との要望があり、取扱いを協議した結果、候補者ご本人からではなく、各推薦者に対し「候補者のお考え等について、推薦者の立場からの見解や期待」を提出していただくようお願いすることとした。

会長候補者の選考においては、例年の推薦調書のほか「推薦理由の追加」資料をもとに議論を重ねた結果、いずれの候補とも本会のリーダーとして、また日本の公衆衛生・地域保健活動のリーダーとしてふさわしい経歴、業績及び高い見識をお持ちであることで意見が一致した。その上で、本委員会として、うちお一人を総会に推薦することにしたものである。

監事候補者についても、推薦された3名はいずれも本会の監事として職務を十分に果たしていただける経験と見識をお持ちであることを確認したうえで、本委員会として総会に推薦することにしたものである。

8月21日 次の4名を総会に推薦することとし、同日中に各候補者から承諾を得た。

会長候補者として 宇田英典先生（鹿児島県伊集院保健所長）

監事候補者として 阿部孝一先生（郡山市保健所長）

山田全啓先生（奈良県葛城保健所長）

石原浩先生（豊島区池袋保健所長）

8月30日 第2回理事会において経過を報告した。

なお、議論の過程において、現行の推薦方法の問題点を指摘する意見が出され、それについても意見交換を行った。推薦方法のあり方自体の議論は有意義であるが、本委員会の任務の範囲を超えることになるため、あえて「とりまとめ」は行わず、出た意見を列記して8月30日の第2回理事会に報告した。



